

令和6年度事業計画・目標

| 施設名 | 特別養護老人ホームいずみ苑 | ケアハウスいずみ苑 |
|-----------|---|---|
| 事業種別 | 第1種社会福祉事業 | 第1種社会福祉事業 |
| 事業目標 | <p>【接遇の向上】 「相手を大切に思う気持ちをもって、適切に対応する事」を目標にして、接遇の向上＝「介護の質の向上」を目指し、精神面と身体面の両面から入居者の生活支援を行います。</p> | <p>職員の感染予防対応を強化しながらも、入居者の生活を抑制せず活気のある日常生活が送れるように支援します。</p> <p>1、感染予防対策の強化 2、居室への引きこもり防止支援 3、稼働率の向上</p> |
| 施設サービス | <p>地域の重度の介護度状態の方や・緊急度の高い方の受け入れを積極的に行い、地域におけるセーフティーネット機能の強化に努めます。又、入居者様が安心して充実した生活を行っていただけるように事業目標に向けて活動を行います。</p> | <p>【感染予防対策の強化】 ケアハウスの入居者は、外部に出ることも多い事から、体調の確認(体温・血圧・Spo2※血中酸素飽和度)測定を日に2回実施します。</p> <p>【居室への引きこもり防止支援】 感染予防に尽力しながら、充実した日常生活が送れるように支援してまいります。</p> <p>1)移動パン屋の導入 月2回 2)下田農業ふれあい館の総菜販売 月1回 3)買い物ツアー&買い物代行 月3回</p> |
| 人材育成・資質向上 | <p>【介護技術の基礎力の向上】 オンライン研修を中心に、内部講師と外部講師を活用して、職員の介護技術の向上に努めます。新人職員には「新規の介護技術の習得」の場として、中堅職員には「介護技術の見直しの場」として研修会を実施します。</p> <p>【重度認知症入居者様への対応力の向上】 介護職員(1年目)に認知症介護基礎研修(義務化)を実施します。 認知症介護実践研修・認知症介護リーダー実践研修を計画的に受講して、認知症専門ケア加算の取得を目指します。</p> | <p>【オンライン研修&介護実技研修の実施】 お茶の水オンライン研修を用いて月1回、研修会の実施を行います。又、特別養護老人ホーム介護職員による介護技術に特化した研修会を3か月に1度実施し、介護力の向上に努めます。</p> |
| 施設稼働率 | <p>稼働目標 95% 空室期間の短縮の為、病院・居宅支援事業所・あんしんケアセンターへの空き情報の発信を定期的に行いきます。又、昨年に引き続き相談員会議を毎月開催し、法人内施設間の入退所状況の共有化を行い稼働率の向上を行います。</p> | <p>稼働目標 90% 空室期間の短縮の為、あんしんケアセンター・居宅介護支援事業所への空き情報の発信を定期的に行います。又、昨年に引き続き相談員会議を毎月開催し、法人内施設間の入退所状況の共有化を行い稼働率の向上を行います。</p> |
| その他 | <p>【介護度重度者(介護度4～5)の方の受け入れ】 介護基礎力を高めていくことで、介護度4～5の重度の受け入れを積極的に行います。また、平均介護度 3.8(R6.3 現在)から平均介護度 4 を目指して受け入れを行います。</p> | <p>【朝の体操の定着化】 朝のラジオ体操を実施していますが、参加率が低く、定着されていない事から、朝の体操カードを作成し、参加した方へはスタンプを押すことで、参加への意欲喚起を行います。</p> |

令和6年度事業計画・目標

| 施設名 | いずみ苑リハビリケアセンター | 特別養護老人ホーム小倉町いずみ苑 |
|-----------|--|--|
| 事業種別 | 第2種社会福祉事業 | 第1種社会福祉事業 |
| 事業目標 | <p>【施設目標:向上心を持って質の高いケアを目指そう】</p> <p>2F</p> <p>1.温かみのある環境:入居者と職員が笑顔で生活できるよう援助します。</p> <p>2.働きやすい環境づくり、安全な生活:報告・連絡・相談を密にする。コミュニケーションの時間を増やす。申し送りノートの等の活用、引継ぎ、カンファレンスを行い、ケアの統一をする。</p> <p>3 感染予防の徹底:1人1人が感染予防を意識する。消毒・換気・掃除を徹底します。</p> <p>3F</p> <p>1.入居者のリハビリ強化:居室担当から OT(作業療法士)へ相談し、個別リハビリに繋がります。</p> <p>2.居室の整理整頓:業務中、空き時間を使い行っていく。</p> <p>3.感染予防を徹底:換気、手すり、テーブルなどの消毒を徹底します。</p> | <p>法人の理念である『明るい、暖かみのある雰囲気がある施設』を基本に、いずみ苑グループの8つの基本ケアを取り入れ下記の目標とします。</p> <p>1丁目ユニット 「座って会話をする」を基に、入居者様とコミュニケーションを取り、楽しく生活出来るユニットにします。</p> <p>2丁目ユニット 「座って会話をする」「夢中になれる事をする」を基に入居者様が希望する「暮らし」が継続して出来るユニットにします。</p> <p>3丁目ユニット 「座って会話をする」「夢中になれることをする」を基に同じ目線で会話をし、本人らしきを出せるユニットにします。</p> |
| 施設サービス | <p>センター長を中心に介護・看護・医療・リハビリ・栄養の各部署との連携を図り、入居者それぞれに合った介護サービスとリハビリの提供、又、入退所がスムーズに行えるように、協力病院、他医療機関、在宅支援事業所、あんしんケアセンター、法人施設、他施設との協力関係を築き、目標が達成できる活動を行います。</p> | <p>職員主体で様々な活動を行うのではなく、入居者様のやりたい事、できる事を取り入れて、楽しく、充実した生活を提供します。</p> |
| 人材育成・資質向上 | <p>介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員の取得を目指しキャリアアップを目指します。外部研修会に進んで参加し、研修後、報告会を行います。1年に1回フロア移動をし、2・3階のことを知り、個々のスキル向上を図ります。</p> | <p>若手職員3名が新たに役職となり、新体制で職員のマネジメント教育を行っていきます。EPA 介護福祉士候補生4名、千葉県留学生受入プログラム2名の計6名の受入れを行っています。介護福祉士の国家資格の取得が行える様に、外国人人材の教育に力を入れます。</p> |
| 施設稼働率 | <p>稼働目標 95%以上</p> <p>令和5年度は95%を目標にしましたが、達成できておりませんので、在宅復帰、特養への移動など、入所・退所のバランスを考えながら、稼働率の向上・維持を行い、今年度は目標が達成できるように努めてまいります。</p> | <p>稼働目標96%以上</p> <p>退所後、入院後の空室を入所や空所利用で早急に対応し、稼働率の維持、向上を行います。</p> |
| その他 | <p>【経費削減】 職員ひとりひとりが経営者の視点を持ち、光熱費、物品、備品に対してコスト意識ができるようにします。</p> <p>【介護ロボット】 LOVOT(らぼっと)※コミュニケーションロボットを導入し、入居者・職員の癒しになるように活用します。</p> | <p>【外部受入れ・地域交流】 感染症に留意しながら、地域との交流や学生の介護実習等に協力し「福祉を知ってもらう」活動を継続して行います。また、法人内の就業にも繋がるよう、受入れ施設側の質の向上も行います。</p> <p>【介護ロボット】 最新の介護ロボットを職員が学ぶ機会を作り、介護ロボットの必要性について検討し、介護ロボットの導入により、入所者様の ADL の維持、向上や職員の介護負担を軽減します。</p> <p>【経費削減】 職員ひとりひとりがコスト意識をもって、光熱費、物品、備品を適正に使用します。</p> |

令和 6 年度事業計画・目標

| 施設名 | 特別養護老人ホーム第 2 いずみ苑 | 千葉市あんしんケアセンター千城台 |
|---------------|---|--|
| 事業種別 | 第1種社会福祉事業 | 公益事業 |
| 事業目標 | <p>入居者様と職員共に過ごしやすく働きやすい環境整備の為に、法人理念に則った「互いにあたたかみを感じられる」事業を目指して参ります。</p> <p>1丁目ユニット:24 時間プランを活用し、入居者様にあった生活支援を毎日実施します。 2丁目ユニット:ケアプランを基に、毎月個別ケア対象者を選定し、入居者様の生活の質を高めます。 3丁目ユニット:全入居者の笑顔を引き出します。毎日笑顔で笑い声の溢れる丁目を目指します。 4丁目ユニット:チームという意識を常に持ち、入居者様の暮らしやすい環境作りを支援します。 5丁目ユニット:月 1 回イベントを企画し、入居者の個々の趣味趣向にあった楽しみを提供します。</p> | <p>総合相談業務を中心に高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、関係機関との連携により高齢者の心身の健康保持、生活の安定のために必要な支援を行い、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を図ります。</p> |
| 施設サービス | <p>料理会や畑で野菜栽培、出前会など四季に触れながら美味しい物を召し上がって頂く事や、少人数でドライブを楽しんで頂くなど感染対応は継続しながらも楽しみを持って生活して頂ける企画を実行します。</p> | <p>若葉区担当課、医療機関、介護サービス事業者、民生委員協議会、社会福祉協議会地区部会、町内自治会、ボランティア団体等との連携により、地域の特性や状況に合わせたネットワークを構築することで、地域高齢者の情報収集や実態把握を行い、孤立した高齢者を早期に発見し、必要なサービスにつなげる等、適切な支援を行います。</p> |
| 人材育成・ 資質向上 | <p>中途採用で入社している潜在的なマンパワーの活用を行い、現存職員と共に実践に繋げられるコミュニティ構築を目指します。 又、昨年度からも取り組んでいる認知症介護実践者、実践リーダー、ユニットリーダー研修の各研修全てに参加を予定しており、職員間の共通認識を持って介護に取り組みます。</p> | <p>包括3職種(主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師)生活支援コーディネーターの専門性向上に向けて、県や市等関係機関が開催する各種研修への参加を行います。 また、担当圏域の介護支援専門員に対し、支援困難事例の対応相談や資質向上を目的とした研修や情報交換会を開催し、地域における多職種連携を推進します。</p> |
| 施設稼働率 | <p><u>稼働目標:90%以上</u> 現状、介護職の不足、看護師は必要最低人員での運営状況となっており人員確保が急務となっています。この状況で稼働を重視すると、適切なサービス提供に支障をきたす恐れもありトラブルにも繋がりがかねない状況を懸念しています。人員確保を念頭に入れ、体制が整い次第各事業所へ営業を行うなど、年間目標の上方修正も視野に入れながら実践します。</p> | <p>地域住民を対象とした講座、健康相談会等を開催し、地域における介護予防に関する知識の普及啓発を図り、高齢者が継続して介護予防に取り組める環境を整備します。 直営の体操教室「いきいきかがやきクラブ」2ヶ所を月 2 回開催し、高齢者の体力づくり、閉じこもり防止に向けた運動習慣の確立を推進します。また、年 2 回の体力測定会を行い、日々の運動習慣の効果検証を行います。</p> |
| その他 | <p>【専門職員の人材確保】 管理栄養士、理学・作業療法士のような専門職を配置する事を目指し人材確保に努めます。配置する事で、お一人おひとりの残存能力を活かせる支援に加えて、栄養マネジメント強化加算や個別機能訓練加算を算定出来るよう進めて参ります。 又、令和6年度の介護保険改正にも対応しうる柔軟な体制作りの為、間口を広げた採用枠で適材な人材発掘を模索します。 【地域交流の場を設ける】 第2いずみ苑内の畑のボランティアや、感染対応が落ち着いてくるようであれば、地域の方々をお呼びしたふれあい食事会や施設見学会、介護のポイントを実践的にお伝え出来るような介護体験会等を開催出来たらと考えます。 今後も白井地区部会の方々と共に、定期的に意見交換の場を設けながら地域に根ざした施設環境を整えます。</p> | <p>【若葉いきいきプラザ出張相談会】 ・センター外での相談活動として、高齢者がサークル活動等で多く集まる同プラザにて、週 1 回 1 時間の出張相談会を開催します。(年 48 回) 【認知症サポーター養成講座】 ・認知症を正しく理解し、それぞれの立場で当事者やご家族への支援をお願いすることを目的として、職域や地域単位での講座開催を行います。 ・若い世代への認知症の理解を深めるために圏域中学校、小学校等で開催します。(千城台西中学校1年生、小倉小学校等) 【外部団体への人材派遣、交流】 ・千葉市社会福祉協議会地域福祉活動推進委員会、若葉区支え合いのまち推進協議会、千葉市高齢者身体拘束廃止権利擁護研修会等への人材派遣を行い当該団体の活動支援、交流を推進します。</p> |